

11～1月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

148,371円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷)	13,230円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	40,802円
通信費(携帯電話代、折込代)	94,339円
支出計 12/10/31～13/1/31	148,371円
寄付	
Yさん、Kさん	20,000円

市政を考える 月刊武松

発行日
13/2/1

第131号

16500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

ホール・地下街の状況について

ホール：建設用地取得に目途！ 地下街再生：搬入エレベータの追加も！

■市民ホール改め芸術文化創造センター

小田原市では、2016年度の完成を目指し、市民ホールの整備を進めていますが、昨年度までに「市民ホール基本構想」と「市民ホール基本計画」が策定され、市民ホールの理念や使命、整備推進方針が定まりました。

この方針に従い、2013年度から実施する「基本設計」に向け、設計者の選定作業中です。

2012/4 市民ホール基本計画策定

2012/8～ 市民ホール設計者選定委員会

2012/12 芸術文化創造センターに改称
設計者の募集 46社応募

2013/1 一次審査 20社通過

(株)青木淳建築計画事務所 (株)新居千秋都市建築設計

(株)安藤忠雄建築研究所 (株)石本建築事務所横浜

(株)遠藤克彦建築研究所 (株)大宇根建築設計事務所

(株)隈研吾建築都市設計事務所 (有)小泉アトリエ

(有)香山壽夫建築研究所 シーラカンズK&H (株)

(株)高松伸建築設計事務所 (有)ナスカ

(株)坂茂建築設計 (株)ヘルム (株)三上建築事務所

(株)みかんぐみ

三菱地所設計・佐藤尚巳建築研究所設計共同体

(株)安井建築設計事務所

(株)柳澤孝彦タック建築研究所 (有)SANAA事務所

ホールの管理運営については、芸術文化創造センター（市民ホール）管理運営基本計画案を2012年度中に策定するため、2013/1/15～2/14まで市民意見の募集中です。

2013/3 設計者選定

2013年度 基本設計

- ・全体規模、建物や諸室の配置の検討と決定
- ・動線の検討と決定
- ・必要な設備の選択と決定
- ・概算工事費の算出

2014年度 実施設計

- ・工事発注のための図面作成
- ・数量、単価など経費内訳書作成

2015年度 建設工事

- ・建築、機械、電気、空調、衛生、昇降機、

2016年度

- ・舞台設備などの工事
- ・完成

■地下街再生事業

昨年6月の地下街再生計画策定後、今年度中の実施計画策定に向け、参画意向調査を行っています。

12月議会では、再生計画には無かった、搬入エレベータの追加とそれに伴う事業費が増加する見込みが示されました。また、副市長答弁では、「駅改札から錦通り側への来街者の主な動線は、今後も地下街中央通路である。」との、見解が示され、暗にペDESTリアンデッキ延長検討の先送りと認識しました。

2012/6 地下街再生計画策定

2012/9 地下街への参画意向調査

2012年度 地下街再生実施計画の策定作業中

小田原地下街再生事業に関する市民説明会について

小田原地下街再生事業について、市民の皆さんにご理解を深めていただくため、下記のとおり市民説明会を開催いたします。

※事前予約は不要です。2回とも同じ内容です。

第1回

日時 平成25年2月13日(水) 19時～21時

場所 小田原市民会館6階 第7会議室

第2回

日時 平成25年2月14日(木) 19時～21時

場所 川東タウンセンターマロニエ3階
集会室301

小田原市の将来に
地下街は必要でしょうか？

駅で本の返却できます

市立図書館、かもめ図書館、マロニエ図書室、いずみ図書コーナー、こゆるぎ図書コーナー、尊徳記念館で借りた本の返却が、**アーロード市民窓口内**（小田原駅東西自由通路内）、**国府津駅前窓口コーナー**内に設置した青い本の返却ポストでできるようになりました。

アーロード市民窓口

平日 午前7時30分～午後7時00分
土日、祝日 午前8時30分～午後5時00分

国府津駅前窓口コーナー

平日 午前7時30分～午後7時00分
土曜 午前8時30分～午後0時00分

- 生涯学習センターけやき、国府津学習館図書室、尊徳記念館において図書貸出券でお借りになった資料はそれぞれのカウンターにお返しください。
- 本の返却ポストに投函してから、返却処理されるまでに2日ほどかかる場合があります。
- 視聴覚資料の返却は、かもめ図書館視聴覚カウンターへ、大型絵本、紙芝居の返却は、各館のカウンターへ直接お持ちください。



▲本の返却ポスト（青）

The Voice 皆様から頂いたご意見

地下街は埋めてしまうのが一番です

小田原地下街再開にあたって武松議員は反対の意向のようで安心しております。ラスカ建設を小澤市長が認めた時点で地下街は商業としてなりたたなくなっただと考えます。武松議員の埋めてしまう方向が一番です。

地下街再生は、計画を変更する勇気を

武松議員は、加藤市長当選以前は商業施設として再生を主張されていたと記憶しています。しかし、その後の経済状況の変化で当初の見通しが変わるのは当然であり、計画を変更する勇気も必要です。

ところが、加藤市長は初当選時の公約を反故にして、2008年9月に地下街を商業施設として再生すると180度転換して今日に至っています。完全に意固地になっています。しかも、おだちか再生は遅れに遅れいまや実現性は限りなくゼロに近い状態ではないでしょうか。今後はこういうおかしな計画の予算は否決していただかないと市民はたまったものではありません。

小田原駅改札から錦通りへの高さ方向の移動階数

- ・ペデストリアンデッキ 3階→2階→1階 = 2階分
- ・地下街中央通路 3階→2階→1階→地下→1階 = 4階分

バリアフリーの観点からすれば、来街者の主な動線を地下街中央通路とすることは間違いで、**ペデストリアンデッキを延長すべき**です。地下街を埋めるメリットは、出入口階段囲い・吸排気口撤去に伴い通路と広場の拡大により、イベントがやりやすくなり、バスの転回がスムーズになります。また、光熱費、警備費等が年間約4千万円節約できます。

議会では、以前地下街の早期再開をJRと協議推進するよう決議をしました。しかし、その後のJRと市の協議で、事業主体が、市になることが決定しました。決議は、あくまでもJRが事業主体となり、早期再開を目指すこと。しかし、市が事業主体となるのであれば重大な前提条件が崩れたのです。市がそのまま事業主体となって地下街再生を目指すとした時点で、ボタンを掛け違っています。

月例勉強会のお知らせ

2月の勉強会 どなたでも参加できます。

日時：2/23(土)18時～20時

場所：市民会館6階 第1多目的室

テーマ：「地下街・ホールについて」

参加費：100円 終了後、実費で懇親会を行います。



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 大井町支店出張所 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで
月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**